

DXの取り組み、生成AIの活

DX、生成AIの取り組みは道半ば、人材面・資金面等が課題

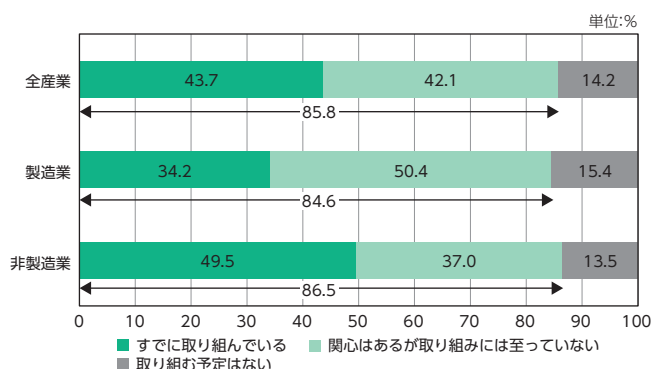
デジタル技術の普及およびビッグデータの活用等により、多くの企業がDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組み始めている。DXとはデータとデジタル技術を活用して、新たな製品やサービスの提供、新たなビジネスモデルの開発により、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することとされている。DXの取り組みと、最近話題のChatGPTなど生成AIの活用について埼玉県内企業にアンケート調査を行った。

✓ DXの取組状況

DXの取組状況については、「すでに取り組んでいる」が43.7%、「関心はあるが取り組みには至っていない」が42.1%、「取り組む予定はない」が14.2%となり、DXに取り組んでいる企業は半数未満に留まっている。

業種別にみると、非製造業では「すでに取り組んでいる」が、製造業の34.2%に対して49.5%と高いのが目立っている。

●DXの取組状況



✓ DXの取組目的

「すでに取り組んでいる」および「関心はあるが取り組みには至っていない」企業の取組目的（複数回答）については、「業務効率化・コスト削減」が92.5%と最も多く、次いで「企業文化・働き方の変革」61.1%、「人手不足の解消」60.8%、「ビジネスモデルの変革」

30.6%、「既存製品・サービスの高付加価値化」28.7%、「新製品・サービスの創出」16.2%などとなった。効率化に関連する目的は多いものの、新たな価値の創出に結び付く目的は少なかった。

業種別にみると、「人手不足の解消」で非製造業が製造業に比べ多く、「既存製品・サービスの高付加価値化」で製造業が非製造業に比べ多いのが目立った。

●DXの取組目的

単位:%

	全産業	製造業	非製造業
業務効率化・コスト削減	92.5	90.9	93.4
企業文化・働き方の変革	61.1	59.6	62.0
人手不足の解消	60.8	53.5	65.1
ビジネスモデルの変革	30.6	25.3	33.7
既存製品・サービスの高付加価値化	28.7	35.4	24.7
新製品・サービスの創出	16.2	22.2	12.7
その他	0.8	1.0	0.6

✓ DXに関する取組内容

「すでに取り組んでいる」および「関心はあるが取り組みには至っていない」企業の（予定を含む）取組内容（複数回答）については、「業務関連ソフトの導入や業務関連システムの構築」が63.6%と最も多く、次いで「ホームページ・SNSなどによる情報発信」59.1%、「テレワーク・オンライン会議など働き方の変革」48.8%、「社内決裁や契約手続きなどの電子化による業務効率化」47.5%、「AI、IoT、RPAなどによる生産性の向上」22.3%、「eコマースやオンライン商談など販売チャネルの多様化」および「ICTなどの活用による新製品・サービスの創出」がともに9.1%などとなった。取組内

●DXに関する取組内容

単位:%

	全産業	製造業	非製造業
業務関連ソフトの導入や業務関連システムの構築	63.6	64.8	63.0
ホームページ・SNSなどによる情報発信	59.1	55.7	61.0
テレワーク・オンライン会議など働き方の変革	48.8	56.8	44.2
社内決裁や契約手続きなどの電子化による業務効率化	47.5	31.8	56.5
AI、IoT、RPAなどによる生産性の向上	22.3	22.7	22.1
eコマースやオンライン商談など販売チャネルの多様化	9.1	9.1	9.1
ICTなどの活用による新製品・サービスの創出	9.1	4.5	11.7
その他	0.8	1.1	0.6

用について

容についても取組目的同様、効率化に関連する内容は多いものの、新たな価値の創出に結び付く内容は少なかった。

業種別にみると、「テレワーク・オンライン会議など働き方の変革」で製造業が非製造業に比べ多く、「社内決裁や契約手続きなどの電子化による業務効率化」で非製造業が製造業に比べ多いのが目立った。

☑ DX取り組み上の課題

DX取り組み上の課題(複数回答)については、「人材がない」が60.7%と最も多く、次いで「資金の余裕がない」30.7%、「ICTなどの技術的知識不足」30.3%、「進め方がわからない」26.0%、「業務改革への抵抗が大きい」25.7%、「活用方法がわからない」23.7%、「成果が期待できない」19.0%などとなった。

業種別にみると、「資金の余裕がない」で製造業が非製造業に比べ多く、「成果が期待できない」で非製造業が製造業に比べ多いのが目立った。

●DX取り組み上の課題

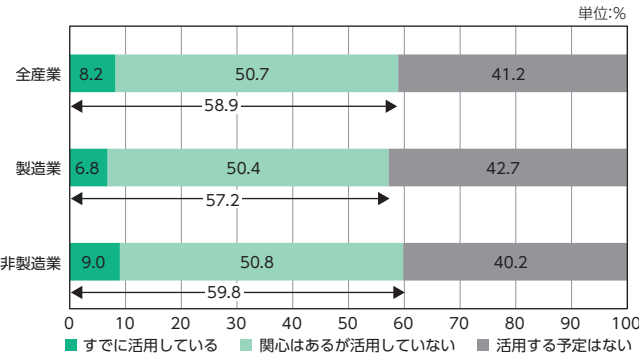
	単位:%		
	全産業	製造業	非製造業
人材がない	60.7	61.9	59.9
資金の余裕がない	30.7	36.3	27.3
ICTなどの技術的知識不足	30.3	26.5	32.6
進め方がわからない	26.0	29.2	24.1
業務改革への抵抗が大きい	25.7	21.2	28.3
活用方法がわからない	23.7	23.9	23.5
成果が期待できない	19.0	12.4	23.0
特になし	12.0	10.6	12.8
その他	2.0	0.9	2.7

☑ ChatGPTなど生成AIの活用状況

生成AIの活用状況については、「すでに活用している」が8.2%、「関心はあるが活用していない」が50.7%、「活用する予定はない」が41.2%となり、関心があっても活用していない企業が半数に及んだ。

業種別では大きな差はなかった。

●生成AIの活用状況



☑ 生成AIの活用目的・活用希望目的

生成AIを活用している先の活用目的(複数回答)は、「文書作成」が80.0%と最も多く、次いで「情報収集」64.0%、「言語翻訳」および「アイデア出し」がともに44.0%、「画像作成」24.0%、「動画作成」8.0%、「音楽作成」4.0%などとなった。

業種別にみると、「文書作成」、「情報収集」、「動画作成」で非製造業が製造業に比べ多いのが目立った。

生成AIを活用している先および関心がある先の活用希望目的(複数回答)は、「情報収集」が74.0%と最も多く、次いで「文書作成」69.4%、「アイデア出し」64.2%、「画像作成」44.5%、「言語翻訳」39.3%、「動画作成」37.0%、「音楽作成」11.6%などとなった。

業種別にみると、「動画作成」、「文書作成」で非製造業が製造業に比べ多いのが目立った。

(太田富雄)

●生成AIの活用目的・活用希望目的

	活用中			活用希望		
	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
文書作成	80.0	62.5	88.2	69.4	62.7	73.6
情報収集	64.0	50.0	70.6	74.0	71.6	75.5
言語翻訳	44.0	37.5	47.1	39.3	47.8	34.0
アイデア出し	44.0	37.5	47.1	64.2	64.2	64.2
画像作成	24.0	25.0	23.5	44.5	38.8	48.1
動画作成	8.0	0.0	11.8	37.0	23.9	45.3
音楽作成	4.0	0.0	5.9	11.6	9.0	13.2
その他	4.0	12.5	0.0	2.9	3.0	2.8

2023年10月実施。対象企業数1,007社、
回答企業数314社、回答率31.2%。